

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、事業環境と業界動向を見据えて、給与賞与のベースアップを継続的に行い、成果を上げ貢献した人にはしっかりと報えるようなメリハリある報酬体系を運用していくことで、従業員のモチベーション向上を図るとともに、採用市場で人材を獲得できる報酬水準を実現してまいります。

教育訓練等については、業務上ベースとなる研修体系に加え、従業員の自己研鑽のための教材を拡充して能動的に学習できる環境を整えてまいります。また、従業員に職業人生を考えてもらうキャリア研修をスタートさせ、仕事を通じた自己実現を後押しすることで、各々のキャリアアップを企業の成長につなげる取り組みをしてまいります。

報酬や教育のみならず、新卒やキャリア採用などの人材獲得、育成プランに基づいた人事異動やキャリアを実現する自己申告・社内公募の運営、テレワークや男性育休等、働き方の選択肢を増やす取り組みなど、種々の人事施策を通して人材投資を進め、企業の持続的な成長を実現するとともに、従業員の生活をより豊かなものにしていきます。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/42909-05-01-tokyo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

キューピーグループは、サステナビリティという概念ができる以前から創始者 中島董一郎の「食を通じて社会に貢献する」という考えのもと、社会課題の解決に取り組んできました。現在は「めざす姿」「2030 ビジョン」を将来のありたい姿とし、社会・地球環境への取組みを強化することを掲げています。

社会・環境課題解決に取り組んでいくことは、未来に向けた必要な投資であると捉え、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって課題解決に取り組めます。そして、商品の設計、調達から生産、販売、消費までのバリューチェーン全体を通じて人と環境を思いやり、笑顔の溢れる未来を創るキューピーグループにしていきます。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和7年8月31日

キューピー株式会社 代表取締役 高宮 満